

平成29年「島根県教育委員会の主な動き」

項 目	説 明
古代出雲歴史博物館開館10周年 (3月) 【文化財課】	<p>○古代出雲歴史博物館は、「島根の特色ある歴史・文化の調査研究と成果の発信」と「歴史と文化を生かした人づくり、地域づくりへの貢献」を使命として、平成19年3月に開館した。</p> <p>今年3月に開館10周年を迎え、総入館者数も300万人を超えた。</p> <p>この間、多数の特別展・企画展を開催するとともに、小学校・中学校・高校・特別支援学校との間で、学習目的に応じた様々な「博学連携プログラム」に取り組んだ。</p>
「インクルーシブ教育システム」構築のための取組の推進 (4月以降) 【特別支援教育課】	<p>○障がいのある子どもと障がいのない子どもが同じ場で共に学ぶ仕組みである「インクルーシブ教育システム」を構築するため、新たに以下の取組を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特別支援学校の小中学校等への相談支援を強化するため、担当教員代替非常勤講師を配置 ・小中学校教員の学級経営等に関する相談に対応する特別支援教育支援専任教員を配置 ・高等学校における通級指導や特別支援教育を推進するための協議会等を設置 <p>○取組を通じ、特別な支援を必要とする児童生徒に障がいの状態に応じたきめ細かな教育を提供することを目指していく。</p>
「教育の魅力化」の展開 (4月以降) 【教育指導課】	<p>○平成23年度から中山間地域・離島の県立高校が地域と連携・協働し、魅力ある学校づくりに向けて取り組み、学校・地域の活性化、県外からの入学生増加などにつながった。</p> <p>今年度より、高校魅力化に取り組む対象高校を順次拡大するとともに、高校魅力化に取り組む中山間地域・離島の市町村において、小中学校から高校、特別支援学校までを貫いて、一体的・系統的に「教育の魅力化」を進められるよう支援している。</p>
「日が沈む聖地出雲」の日本遺産認定 (4月) 【文化財課】	<p>○出雲市が文化庁に申請した「日が沈む聖地出雲」が、4月に日本遺産に認定された。</p> <p>県内からは一昨年度の「津和野今昔」、昨年度の「出雲國たたら風土記」に続き、3年連続の認定となった。</p> <p>「日が沈む聖地出雲」のストーリーの内容は、出雲神話の舞台となった「稻佐の浜」と「日御碕」の名で親しまれる出雲西</p>

	<p>海岸の夕日の素晴らしさを中心に、あまり知られていない夕日にちなんだ「天日隅宮」^{あめのひすみのみや}（出雲大社）と「日沉宮」^{ひしずみのみや}（日御碕神社）があることを題材にしたもので、一帯の観光地の魅力アップと活性化が期待される。</p>
<p>世界遺産登録10周年記念「石見銀山展」を開催 （7月～9月） 【文化財課】</p>	<p>○石見銀山の世界遺産登録10周年を記念して、7月14日（金）から9月3日（日）までの約50日間、特別展「石見銀山展 ～銀が世界を変えた～」を出雲市の古代出雲歴史博物館と大田市の石見銀山資料館の2館で同時開催した。</p> <p>期間中は、ポルトガルからの銀製品や全国の貴重な文化財の展示と並行して、関連講座、関連イベント、ギャラリートーク等を交えながら、石見銀山を良く知らない方々の興味もひきつけるような仕掛けづくりを関係者で工夫した。</p> <p>その結果、当初の目標を大きく上回る約3万7千人の方にご来場いただき、世界遺産「石見銀山遺跡」を多くの方に再認識していただく良い機会となった。</p>
<p>しまね教育の日フォーラム2017の開催 （11月） 【総務課】</p>	<p>○11月1日のしまね教育の日にちなみ、「しまね教育の日フォーラム2017」を開催した。</p> <p>今回は「子どもの学ぶ意欲を育む魅力ある教育とは何か」をテーマに、子どもたちにとって魅力的な学び、教育、学校、地域の姿を実際の中高生に本音で語ってもらい、子供と大人が対話的に学び合う場にしたいとの思いから、次のプログラムを行った。</p> <p>○オープニング</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大田市立第三中学校吹奏楽部による演奏 <p>○中学生の発表</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海士町立海士中学校生徒 ※「少年の主張」島根県大会で県知事賞を受賞 <p>○対話セッション</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コーディネーター：岩本悠（島根県教育魅力化特命官） ・パネリスト（教育魅力化推進事業実施校生徒）

<p>第5回古代歴史文化賞 決定 (11月) 【文化財課】</p>	<p>○第5回古代歴史文化賞の大賞、優秀作品賞が11月に決定された(島根県・奈良県・三重県・和歌山県・宮崎県の5県により共同実施)。 ○受賞作品等を各メディアへ配信し、テレビの全国ニュースや全国紙の記事等でも取り上げられた。 ○平成30年2月には東京都及び松江市でそれぞれ記念イベントを開催し受賞者による講演等を行うこととしている。</p> <p>[受賞]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・古代歴史文化賞大賞(1点) 「タネをまく縄文人 最新科学が覆す農耕の起源」 小畑弘己氏著 ・古代歴史文化賞優秀作品賞(4点) 「海の向こうから見た倭国」高田貫太氏著 「古建築を復元する 過去と現在の架け橋」海野聡氏著 「神話で読みとく古代日本ー古事記・日本書紀・風土記」 松本直樹氏著 「『日本書紀』の呪縛」吉田一彦氏著
---	---

スポーツや文化活動で
児童生徒が活躍

(通年)

【保健体育課】

【社会教育課】

平成29年も、スポーツや文化活動で島根の児童生徒が活躍した。

〔スポーツ部門〕

○全国高等学校選抜大会

柔道男子無差別級 優勝 私立開星高校生徒

なぎなた女子個人 優勝 私立出雲北陵高校生徒

ライフル射撃女子ビームライフル立射 2位 私立立正大浜南高校生徒

フェンシング女子団体フルレ 3位 県立安来高校

フェンシング女子団体サブ 3位 県立安来高校

ボクシング男子フライ級 3位 県立出雲工業高校生徒

レスリング男子 50Kg級 3位 県立隠岐島前高校生徒

ラグビーフットボール女子 3位 私立石見智翠館高校

ラグビーフットボール男子 3位 私立石見智翠館高校

○全国高等学校総合体育大会

陸上男子 110m 障害 優勝 私立開星高校生徒

カヌー男子カテゴリー アイソングル 500m 優勝 県立出雲農林高校生徒

カヌー男子カテゴリー アイソングル 200m 優勝 県立出雲農林高校生徒

カヌー男子カテゴリー アイパド 200m 2位 県立出雲農林高校生徒

カヌー男子カテゴリー アイフォア 500m 3位 県立出雲農林高校生徒

ホッケー女子 3位 県立横田高校

なぎなた女子個人試合 3位 私立出雲北陵高校生徒

○全国中学校体育大会

水泳女子高飛込 2位 安来市立伯太中学校生徒

水泳女子 3m 飛板飛込 3位 安来市立伯太中学校生徒

陸上男子砲丸投 3位 益田市立益田東中学校生徒

○第72回国民体育大会

ホッケー少年男子 優勝 県立横田高校

ホッケー少年女子 2位 県立横田高校

ソフトテニス少年男子 2位 島根選抜

陸上少年男子 B 砲丸投 2位 益田市立益田東中学校生徒

陸上少年女子 B100m 障害 3位 県立大社高校生徒

カヌー少年男子カテゴリー アイソングル 500m 2位 県立出雲農林高校生徒

カヌー少年男子カテゴリー アイソングル 200m 3位 県立出雲農林高校生徒

ラグビーフットボール少年男子 3位 島根選抜

なぎなた少年女子試合 3位 島根選抜

〔文化活動〕

○第23回全国特別支援学校文化祭 (2月)

〔書道部門〕

りそな銀行賞 島根県立石見養護学校 高等部生徒

○第70回全日本合唱コンクール全国大会 (10月)

〔中学校部門 同声合唱の部〕

金賞・文部科学大臣賞 出雲市立第一中学校

〔中学校部門 混声合唱の部〕

金賞 出雲市立斐川西中学校

〔高等学校部門 Aグループ〕

金賞 出雲北陵中学・高等学校

○第39回少年の主張全国大会 (11月)

文部科学大臣賞 海士町立海士中学校生徒

